

わがまち篠原

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

安全で安心して暮らせるまち

ひとりひとりが つくる 篠原

子どもも大人も いきいき 篠原

みんなで 声をかけあう 篠原

◇主な施設分布状況



- 区民利用施設
- 自治会・町内会館
- みんなの居場所
- 高齢者施設
- 障害児・者施設
- 子育て支援施設
- 地域防災拠点
- +
- 文教厚生施設 (学校、福祉施設、寺社等)

- 公園
- 河川・水路
- 〇— バス路線・バス停
- 〇— 鉄道・駅

- 高齢者施設：①小規模多機能施設 ②グループホーム
③特別養護老人ホーム等の施設 ④有料老人ホーム
- 障害児・者施設：①地域活動ホーム・生活支援センター
②障害者グループホーム ③障害者福祉サービス事業所等
④放課後等デイサービス
- 子育て支援施設：①子育て支援拠点・親と子のつどいの広場
②保育園 ③幼稚園 ④放課後児童クラブ

◆地区の概況

地区の概況

区の南部に位置し、地区内には東急東横線の妙蓮寺駅、白楽駅、市営地下鉄ブルーラインの岸根公園駅があり、菊名駅や新横浜駅にも近い位置にあります。戸建て住宅に住む人の割合が約52%を占め区の平均（約38%）を上回っています。

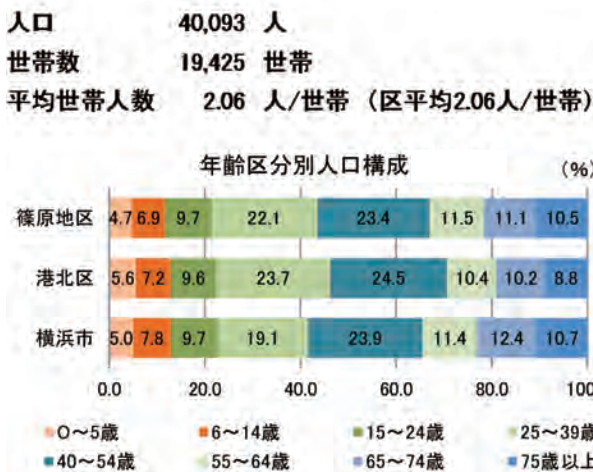
人口等の特徴

20歳代の転入が増加しており、全体として人口や世帯数は緩やかに増加する傾向が続いています。人口や世帯数は今後ほぼ安定した状態になりますが、現在人口が多い35～49歳が少しずつ減少しながら順次高齢化していきます。30～40歳代は減少していきます。

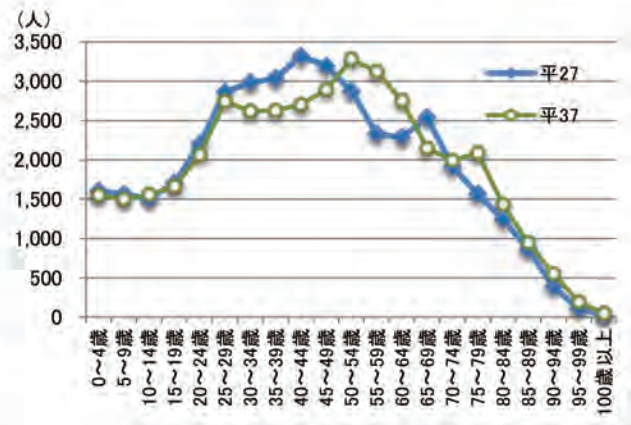
福祉保健活動の状況

自治会ごとに開催するミニデイサービス、ボランティア相談、子育てサロンや公園遊びなど、古くから活発に福祉活動が行われてきました。ひとつプラン推進事業として新たに障がい児余暇支援事業、ホームページの運営も始められています。

人口、世帯数などの状況（平成27年9月末現在）



年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

4つの分科会で活動を推進しました。

- ①交流分科会（障がい児余暇支援事業「とも・とも篠原」の実施）
- ②ボランティア分科会（男性や高校生ボランティアの発掘）
- ③安心安全分科会（災害時要援護者支援の仕組みづくりを自治会ごとに実施）
- ④ホームページ分科会（ホームページ「わがまち篠原」の立ち上げと運営）

●地域の現状と課題

山坂のある地形と高齢化から、閉じこもりがちの方が増えています。自治会ごとのミニデイサービスなど、福祉活動が多くあります。若い世代の担い手が少ないことが課題です。

●今後の方向性

地域で活動する団体の横のつながりづくりに力を入れて取り組みます。また、現在行っている事業の充実を図ります。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

- ・活動団体の連絡協議会を適宜開催し、推進状況を確認します。
- ・「わがまち篠原活動報告会」を年度末に開催し、当該年度を振り返り、次年度の取り組みにつなげます。

◆具体的な取り組み

地域の活動団体同士が連携を深め、充実した活動を展開します

- 活動団体がそれぞれの活動を充実させていきます。
- 活動団体同士の連携を促進します。
 - ・ 活動団体連絡協議会を開催し、活動状況や課題の共有、より活動を発展していくための検討を行います。
 - ・ 子育てサークルと地域ミニデイの交流など、新たな連携を検討します。
 - ・ 自治会町内会と地区社会福祉協議会、老人会、子ども会などで一緒にできる企画を検討します。
 - ・ 地域ケアプラザ、地区センターとの連携を強化します。
- 学校と連携して子どもの安全を守る活動に取り組みます。
- 活動を通じて、担い手を育成します。



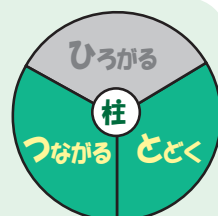
住民交流の活発な、いきいきとした地域づくりを行います

- より多くの住民に、地域活動の情報を発信します。
 - ・ 写真や動画、音声等を活用し、ホームページ「わがまち篠原」を充実します。
 - ・ 広報紙「地区社協しのはら」の発行を継続します。
- 地域活動を通して交流を深めます。
 - ・ 子育て世帯同士や、子育て世帯と地域が交流する場、機会を増やします。
 - ・ 自治会町内会行事や老人会、子ども会活動等の魅力を高め、多くの方へ参加を呼びかけます。
 - ・ 健康づくりや趣味の活動への参加を呼びかけ、交流のきっかけとします。
 - ・ 老人会、ミニデイサービスなど身近な交流の機会を継続、充実します。
 - ・ 閉じこもりがちな方への声かけを行います。



住民同士が顔の見える関係をつくり、地域で見守り支えあう風土づくりを進めます

- 隣近所で緩やかに見守り、支え合う地域づくりを進めます。
 - ・ あいさつ運動や世代間交流を進めます。
 - ・ いざという時に近隣で助けあうことの大切さについて意識を高めます。
 - ・ 自治会町内会と民生委員が連携した見守り活動を行います。
- 自治会町内会ごとに災害時要援護者支援の取り組みを進めます。
- 地域のボランティア「しのはら相談室」の活動を充実します。
- 認知症や障がいへの理解を深めます。
 - ・ 認知症サポーターの養成や、障がいがある方の地域活動への参加呼びかけを行います。
- 障がい児余暇支援「とも・とも篠原」の活動を継続、充実します。
- 地域包括支援センターと連携して、支援が必要な人の早期発見の仕組みを検討します。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



篠原地区

地域活動の概要

子育て・異世代交流分野

- * 子育てサロン・らっこ
- * しのはランド
- * 子ども会（10 団体）

健康づくり分野

- * 元気づくりステーション
 - 富士塚いこいの会
 - 元気づくりステーション
 - ゆっくり歩幸会
- * ウォーキング会

地域交流イベント

健民祭・親子スキー教室
グランドゴルフ大会
ペットボトルロケット大会
ユニホック大会・節分豆まき大会
駅伝大会

障がい児・者分野

- * コーヒーふれんどしのはら
- * とも・とも篠原

ボランティア分野

- * 篠原福祉ネットワーク
- * しのはら相談室

高齢者分野

- * ミニデイサービス（9 グループ）
 - ひな菊（菊名南町）
 - いこいの会（富士塚）
 - いこいの集い（篠原東）
 - みちくさの会（仲手原）
 - 夢クラブ（仲手原南）
 - お茶の間（篠原町）
 - 西町のつどい（篠原西町）
 - みどりの会（篠原台町）
 - なごみの会（コーポラス、グリーンコーポ）
- * しのはら人生一服亭
- * 一人暮らし昼食会（4 会場）
- * 老人クラブ（9 団体）・友愛活動員

広報・啓発活動

- * ホームページ
「わがまち篠原」
- * 広報誌
「地区社協しのはら」

篠原地区連合自治会 篠原地区社会福祉協議会

民生委員児童委員・主任児童委員 保健活動推進員 スポーツ推進委員
青少年指導員 保護司 環境事業推進委員 消費生活推進員
港北消防団第二分団・第八分団第二班（女性） 家庭防災員

● 地区の活動に関する問い合わせ ●

篠原地域ケアプラザ

TEL 045-423-1230 FAX 045-423-1257

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp